



保二小の矜持

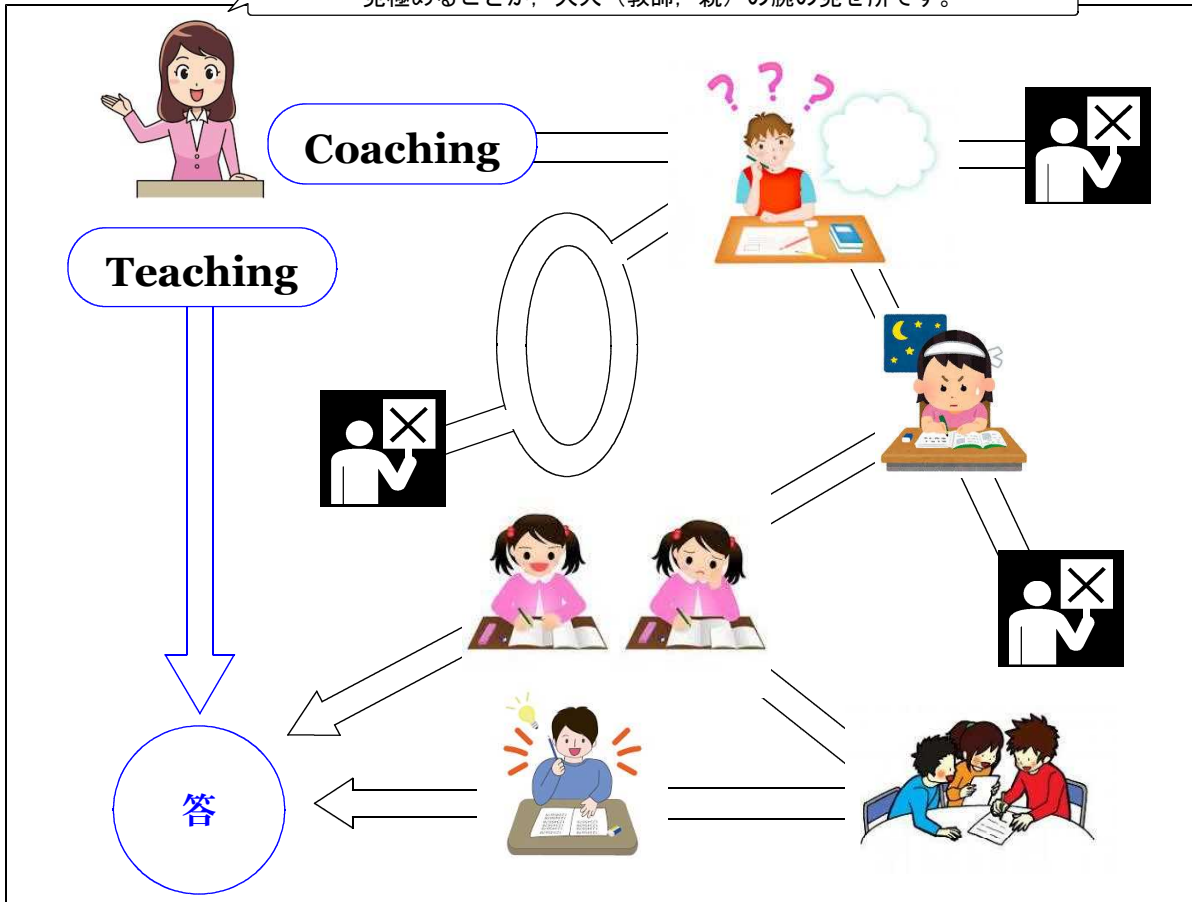
No. 7

西東京市立保谷第二小学校
校長 神山 繁樹

【学校経営方針 「協同・協働・教導する学校」 Back to the basics 自分を見つめ直す】シリーズNo.3

「ティーチング」

子供に伝授したいとき、Teaching と Coaching のどちらにするのかを見極めることが、大人（教師、親）の腕の見せ所です。



私たち教師は、Teacher。教える人です。この“教える”ということを細分化すると、次の2点になると考えています。

《Teaching》子供に基礎的な知識・技能、見方・考え方・表し方を教えること。

《Coaching》身に付けた資質・能力を活用して問題の答を出すやり方・考え方を子供から導き出すこと。

例えば、5年算数「平行四辺形の面積」の学習。

まず、「平行四辺形では、底辺と高さがある。」ということは、基礎的な知識として教えます。

次に、「平行四辺形の面積を求める公式は、(底辺) × (高さ)」ということ、そのまま知識として教えることはしないです。「平行四辺形の面積を求める公式はどのような式になるか考えてみよう。」と問うことで、豊かな発想力・創造力・プログラミング的思考力、忍耐力を子供から導き出す授業を行います。

その上で、公式を使って問題を解き、暗記力、取捨選択力、学びに向かう力を培っていきます。

つまり、4月の学校経営方針で提言した「きょうどう」の一つ、「教導（教え導く）」とは、

Teaching と Coaching ということです。

今年のノーベル医学・生理学賞に決まった京都大学、本庶佑特別教授曰く。

「多くの人が石ころだと思って見向きもしなかったものを10年、20年かけて磨き上げ、ダイヤモンドにする。それが研究の喜びだ。」

本庶佑特別教授の矜持と受け取ることができる 深い言葉 です。